

中国からの帰国者のための

# 生活日本語

(生活日语)

生活日本語  
生活日本語

16

中国からの帰国者のための

# 生活日本語

(生活日语)

江苏工业学院图书馆  
藏书章

## 前 言

1972年日中邦交恢复正常化以来，遗留在中国的许多日本孤儿不断地回国。从几年的实践中，各有关方面纷纷反映：“由于归国者们语言不通，为他们在日本的生活带来了很大的阻碍。为解决语言的困难，有必要尽快地向他们提供生活中需要的日语教材。”

面临着这种实际问题和群众的要求，文化厅决定为归国者编写一部联系实际生活的日语教材。于1982年4月成立了“中国归国者日语教材编写委员会”。编写教材的第一步工作是，为收集归国者的语言生活上所存在的实际问题，做了下列调查工作。①调查归国不久（半年左右）的人在日常生活当中，要接触到哪些生活场面，并收集了在这些场面所使用的语言；②向归国者援护工作部门做了归国者生活实况调查。

根据调查结果，决定编写一部联系日常生活的富有生活素材的日语教材。选择了归国者在日常生活当中需要接触到的24个重点场面，提炼出同这些场面关联的日语要素，并编进必要的生活素材。又为丰富教材内容，召开了援护归国者的行政领导、学者和日语教育专家等的“中国归国者日语教材编制恳谈会”。“恳谈会”为树立编写方针提供了宝贵的意见。

本教材充分酝酿了归国者掌握日语的实态，以及供各团体举办日语讲座的教材和便于自学用的内容。

按道理来说编写这种教材是需要一定时间的，由于编写委员们充分理解社会的需要性，在每个委员的巨大努力下，仅用不到一年的时间完成了编写工作。加上委员们发挥了创造性，从教材的内容来说，也具有目前所有日语教材不可比拟的现实性的特点。

希望归国者们利用本教材尽快学会日语，早日投入到日本的社会生活中。

最后，谨向在编写教材过程中，付出了不分昼夜努力的编写委员及其协助者，以及给与协助的各有关部门及人士，表示衷心的感谢！

1983年2月

文化厅文化部国语课

## はじめに

昭和47年日中国交が正常化して以来、いわゆる中国残留日本人孤児といわれる方々が数多く帰国してこられるようになりました。この中国からの帰国者の方々の円滑な生活適応が、言葉の面からも妨げられている実情が関係各方面から指摘され、早急に適切な日本語教材を開発する必要があるとの要望が高まってきました。

このような要望にこたえるため、文化庁では中国からの帰国者の円滑な生活適応に役立つ実地的な日本語の教材を作成することとし、中国引揚者日本語教材編集委員会を設けて教材の編集に当たることとなりました。作業は、まず、中国からの帰国者の方々の言語生活の実態をつかむことから始まりました。そのため、帰国した後、比較的短期間（約半年間）に帰国者の方々が遭遇する日常の生活場面の調査及びそこで使用される言語の収録、帰国者受入機関に対するアンケート調査などの諸調査を行いました。

これらの調査結果を踏まえて、帰国者の方々が日常生活で最も頻繁にかがわりのある24場面を選定し、その各場面ごとに、生活していくために必要な日本語の要素を抽出していき、必要な生活情報も盛り込んだ教材を作成することとしました。さらに、この事業に各方面の意見を反映させることを考慮し、中国引揚援護関係者、学識経験者、日本語教育専門家から成る懇談会を設けて広範な意見をお出しいただき、編集方針を立てる上で参考とさせていただきました。なお、この教材の性格は、帰国者の日本語習得の形態を考慮し、関係団体等が開催する日本語講習会の教材としても利用でき、かつ、自学自習用としても活用できるものとなるように配慮しました。

本来このような教材の作成には、相当長期の期間が必要とされますが、この教材に対する社会的要請をご理解いただいた編集委員会の方々の並々ならぬご努力により1年足らずの短期間で完成にこぎつけることができました。また、この教材は、その内容においても、編集委員会の方々の創意により、これまでの日本語教材にない特色のある画期的なものとなりました。

中国から帰国された方々が、この教材を活用されることによって一日も早く日本語を獲得し、日本での生活に円滑に適応されることを心から願う次第です。

最後に、この教材の作成に昼夜を分かたずご尽力をいただいた編集委員会の委員及び協力者の方々に重ねて感謝申し上げるとともに、ご協力をいただいた関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

昭和58年2月

文化庁文化部長 国語課

# 目 次

|  |           |
|--|-----------|
| 本书的特点和使用方法 (この本の特色と生かし方).....  | 1         |
| 平假名和发音 (ひらがなと発音).....  | 7         |
| <b>第1课 应酬话 (あいさつ).....</b>   | <b>15</b> |
| ●初次见面的应酬话 (初対面のあいさつ) ●日常生活中的应酬话 (毎日のあいさつ) ●告辞时的应酬话 (別れのあいさつ) ○初次见面(はじめまして) ○请多关照(どうぞよろしく) ○您早(おはようございます) ○再见(さようなら) ○今天天气真好啊(いいお天気ですね) |           |
| <b>第2课 在家里 (家庭で).....</b>  | <b>24</b> |
| ○我要吃啦(いただきます) ○吃好了(ごちそうさま) ○我要走了(行ってきます) ○我回来了(ただいま) ○我要休息了(おやすみなさい) ○去, 去吗?, 不去(行きます、行きますか、行きません)                                     |           |
| <b>第3课 委托和请教 (依頼と質問).....</b>  | <b>36</b> |
| ●求援(助けを求める) ○对不起, 请您帮助我一下(すみません、助けてください) ○谢谢您(ありがとうございました) ○用日语怎么说?(日本語で何と言いますか) ○这, 那(これ、それ、あれ)                                       |           |
| <b>第4课 市(区)役所.....</b>   | <b>47</b> |
| ●要文件(書類の請求) ○在什么地方?(~はどこですか)○请给我~(~をお願いします) ○能不能替我写一下?(書いていただけませんか) ○需要多少钱?(いくらですか) ●数的数法和号码的念法(数の数え方、番号の言い方)                          |           |

**第5课 邮局 (郵便局)**.....58

○买5张60日元的邮票(60円切手を5枚ください) ○信投在哪儿?  
(この手紙どうすればいいですか) ○需要多少钱?(いくらかかりま  
すか) ●数21以上的数(21以上の数の数え方) ○给我40日元的吧  
(40円のをください) ○20日元和30日元一共多少钱?(20円と30円で  
いくらになりますか) ○邮票贴好了, 没贴好(切手をはりました、  
はりませんでした)

**第6课 买东西<1>(買物・その1)**.....74

○~在哪儿?(~はどこにありますか) ○多少钱?(おいくらですか)  
○正道在哪儿?, 老师在哪儿?(正道はどこにいますか、先生はどこに  
いらっしゃいますか) ○一个, 两个...(ひとつ、ふたつ...)

**第7课 买东西<2>(買物・その2)**.....89

○我想要~(~がほしいんですが) ○有没有再大一点儿的(もう少し  
大きいのはありませんか) ○能不能后天送来?(あさってにしてい  
ただけませんか) ○叫你受累了(どうもご苦労さまでした) ●委托运  
送(配達を頼む) ●告诉地址(住所を告げる) ●日子和时间的说法  
(日時の言い方)

**第8课 上中国菜馆(中華料理店へ行く)**.....102

●问路(道を聞く) ○那个菜馆叫什么?(その店、何という店ですか)  
○我要去~(~へ行きたいんですが) ●订菜(注文する) ●方向和地  
点的说法(位置の言い方) ○从车站只走10分钟左右(駅から10分ぐら  
いです) ○在~见面(~で会いましょう) ○明白(分かります、分か  
る、分かると思います)

**第9课 美容院和理发店(美容院と理髪店)**.....117

○我要烫发(パーマお願いします) ○请给我烫和这个一样的(これと  
同じようにお願いします) ○短, 不短, 剪短(短い、短くないです、短

くしてください) ○要和现在一样的, 剪短一点儿就可以了(今と同じ形で少し短くしてください)

## 第10课 修理.....128

○自行车锁有点不好使, 想请你们给修理一下(ちょっと鍵の調子が悪いんですが、見てくださいますか) ○表示目的、完成的说法(去修理, 修好等)(~へ~しに行きます、~しています、~してあります)

## 第11课 交通工具<1> (交通機関・その1).....140

○这辆公共汽车在~前停车吗? (このバス~の前で止まりますか)  
○刚才的广播我没有听懂(今の放送分からなかったんですが) ○我的是“6号”, 是120日元吗?(じゃ「6」だから、120円ですね) ○快, 不快(早い、早かった、早くなかった) ○从~到...(~から...まで)

## 第12课 交通工具<2> (交通機関・その2).....154

○不知道怎么买票(キップの買い方が分かりません) ○请问, 这列电车去“樱台”吗?(ちょっと伺いますが、この電車は桜台へ行きますか)  
○不知该乘哪列车?(どの電車に乗ったらいいんでしょうか) ○我把东西忘在车里了(忘れ物をしたんですが) ○肩背的皮包(肩に掛けるかばんです)

## 第13课 看病<1> (病気・その1).....168

●托邻居紧急联络(緊急連絡を隣家に頼む) ○不要紧, 真麻烦您了(おかげさまで、本当にお世話になりました) ○肚子有点疼(ちょっとおなかが痛いんです) ○不疼(痛くありません) ○从昨天起(きのうから)  
○高烧(大変な熱)

## 第14课 看病<2> (病気・その2).....183

○从晚上开始发烧, 咳嗽得厉害(夜から熱を出してひどいんです) ○体温是37度5分(熱は7度5分ぐらいなんです) ○~是什么呢?(~って何でしょうか) ○一瓶盖儿药(キャップで一杯) ○甲让乙做~

(甲は乙に～させました)

**第15课 居住和卫生 (住まいと衛生)**.....193

○这样放水就行吗?(こうやって水を流せばいいんですね) ○不燃垃圾是指瓶儿呀空罐盒类说的吗?(燃えないごみって瓶とか缶とかのことですね) ○~是做什么用呢?(~っていうのは何に使うんですか)  
○铁链也应该挂上(ドアチェーンもかけておいたほうがいいですね)  
○不然会堵塞下水道管子的(詰ってしまいますからね) ○又~又~  
(~したり~したり)

**第16课 搬家 (引っ越し)**.....204

○给打听一下需要多少钱?(いくらぐらいかかるか聞いていただけませんか) ○我是新搬到305号室的姓林(こんど305号室に越してきました林と申します) ○也许算便宜的(安いほうかもしれません) ○15号早晨就可以(15日の朝でいいです) ○可以饲养狗啦猫的(犬や猫を飼ってもいい) ○不准饲养狗啦猫的(犬や猫を飼ってはいけない)

**第17课 邻里相处<1> (近所付き合い・その1)**.....217

○想打听一下~的事情(~のことについて、ちょっとお聞きしたいんですが) ○应该~吗?(~しなければいけないでしょうか) ○拜托您了(よろしくお願いします) ○~是什么意思(~ってどういう意味ですか) ○给你拿去, 请您拿去(お持ちする、お持ちになる)

**第18课 邻里相处<2> (近所付き合い・その2)**.....227

●跟邻居闲谈(近所の人々との話し方) ○很甜, 另外也便宜(甘くてそれに安いんです) ○大得多, 最大(もっと大きい、一番大きい)  
○看样子很大, 听说很大(大きそう、大きいそう) ○她向我打来招呼, 我吃了一惊(~って言われて、びっくりしちゃった)

**第19课 邻里相处<3> (近所付き合い・その3)**.....239

●谢绝与道歉(断りとあやまり) ○平时都向山本先生请教的(いつも



山本さんに教えていただいているんです) ○真对不起, 没能注意(申し訳ありません。どうも気がつきませんで) ○想做~(~しようと思っています) ○做过, 决定做~, 已定于做~(~したことがある、~ことにする、~ことになっている)

**第20课 银行 (銀行)..... 249**

●尊敬、谦让、丁宁(尊敬、謙讓、丁寧) ●填写表格的办法(書類の記入のしかた) ○这个数字, 做什么用呢?(その数字は何にするんでしょうか) ○字怎么写?(どういう字を書くんですか)

**第21课 学校的通知 (学校連絡)..... 260**

●老师访问家庭(先生の家庭訪問) ○正道总是麻烦您了(正道がいつもお世話になっております) ○给、赠给、送、赠送(もらう、いただく、くれる、くださる、あげる、さしあげる) ○不做~, 净做~(~しないで~ばかりしている) ○要是~, 就不能~(~しないと~できない) ○应该, 会(~はずです)

**第22课 电话 (電話)..... 272**

○喂、喂(もしもし) ○您爱人在家吗(ご主人ご在宅でいらっしゃいますか) ○回头我给你打电话吧?(こちらからお電話いたしましょうか)

**第23课 找工作 (仕事探し)..... 280**

●怎样写履历书(履歴書の書き方) ○我想开始工作(働こうかと思っています) ○怎样找工作好呢?(どうやって仕事を見つければいいんでしょう) ○刚买来(今、買ってきたところです)

**第24课 在工作岗位 (職場で)..... 289**

○您贵姓(どちら様でしょうか) ○吉田现在不在(吉田は今ちょっと席を外しておりますが) ○我想请假早退(早退させていただきたいんですが)

|   |            |
|---|------------|
| 日文解説(解説和文).....                                       | 396        |
| <b>索引(索引).....</b>                                    | <b>302</b> |
| 中国归国者日语教材编写委员会委员及协助者(中国引揚者<br>日本語教材編集委員会委員及び協力者)..... | 320        |

## 本书的特点和使用方法

归国者不同于到日本作短暂旅行访问的外国人，需要完全投入日本的社会生活中，并从事工作。本教材是专为在日本永住的归国者提供的日语学习教材。因此，教材的内容专门收集了日本家庭内的会话、邻居之间的寒暄、交际当中不可缺少的道致谢和道歉的话、买东西或在紧急情况下的必要用语等。如此密切联系日常生活的内容，在一般的日语教课书里是罕见的。这是本教材的第一个特点。

本教材的第二个特点是十分重视使用教材的人在实际生活中学习日语的环境和条件。他们不比留学生，能够在大学里在懂外语的日本人的帮助下学习，归国者们回到日本就被卷入活生生的日语洪流之中，不管愿意不愿意，时时都要接触没有经过选择的日语。这一事实是不能忽视的。

教材的第一课就摆出了日常生活的普通场面，虽说对学习的人来说有些陌生，但提供了自然的会话。对课文中学日语人物（林达雄及其家属）所用的语言，编者充分注意到由浅入深的规律，但进入学日语人物耳朵里的语言，不论在句子结构还是在表达形式上都包含了较深的内容。教者应充分理解这一点，区分应该理解和应该掌握的内容，让学习的人掌握实际生活中急需的语言。

指导听力（理解）教学和会话教学有所不同。特别是利用本教材指导听力教学时，不必让学生字句理解和掌握课文内容，让学生掌握语言交流的类型。如在一个场面对方要说这样的话时，接着一定会说那样的话等。要多掌握起线索作用的语言，这样有时即使不能完全理解对方的话，也能根据上下文理解对方的意图。另外，要注意的是不要做些能够回答但不十分理解的勉强的会话练习，多练习正确表达自己的思想和提出要求时的会话。

总之本教材不是单为学习语言的语言教材，而是提高学员行动能力的语言教材。这是编写本教材目的的根本所在。

### 〔全书的组成〕

全书共有24课。前12课的内容，以达到能开展最低限度的语言活动为目标，并列入了对学习有益的日常问候答谢等表现方法。至于说明、描写的表现方法将在后12课中出现。前12课以养成实际会话能力为主要目标，在这基础上，进一步培养学习者合乎逻辑地叙述、说明、描写的的能力。这个方法反映了前面所说的编写本教材的目的。

24课正文之前，为了引入平假名、发音的知识，写有〈平假名和发音〉。为了使用方便，书的最后还备有索引。进入正文后，象识字练习那样挑着读会话和练习中句子是不符合上述

方针的。因此我们希望能真正充分地进行〈平假名和发音〉练习。索引也与学习内容有关，在预习中能起很大作用。

### 〔各课的组成〕

各课都由“解说”“会话”“翻译·注释”“练习”“补充类语”等部分组成。“会话”提供了语言环境和学习素材，帮助我们加深理解。但我们决不能停止在这一步，还应该根据学习者的现状充分利用会话中的句子进行实践。“补充类语”也应积极利用，列举出的词汇和文章都可作为练习的对象。

### （解 说）

课文中出现的语言环境，充分集中了有关日本人生活的知识。认识和理解风俗习惯的不同，以及与风俗习惯有关的日本人的思考方法，这与培养运用“会话”“练习”“补充类语”中出现的词汇的能力有很大关系。

### （会 话）

会话例句是在医院、区役所等30以上的场面的现场录音等调查访问的基础上写成的。其中的词语完全是以自然的日语为基础的，用的可以说是标准语。在内容方面，在语言方面，都对学习者有极大的帮助。但也有问题。学习者住的地区不一定在以东京语为中心的标准语圈内。重视学习者生活实践的这本教科书当然也应该重视地区方言。遗憾的是因篇幅有限不能一一列举。谨希望各位教师在教学中把地区方言的因素考虑进去。

我们希望学习者能以林先生一家用的语言为使用能力的一种基准，以会话对象用的语言为提高理解力的一种手段，这一些前面都已经谈了。为了有利于理解而写的“注释”“翻译”以及与实际运用有关的“练习”都是最基本的东西。文字的使用，采取了汉字和假名并用形式，汉字都注有假名。各句子都按词语别做了间隔。片假名也按一般使用方式列入书中。

### （翻译·注释）

翻译中用的中文以语言自然为主，并没有逐词逐句进行翻译。要说明的是，象“市役所”“町役场”等的准固有名词，则保留其原形。总之，为了帮助学习者进一步加深对日语的理解，进行了种种努力。

光翻译可能还有不明白的词语，为此又就词的用法和意思添了注解。用法搞错了可能招来误解或不利影响的地方，以说中文的人容易错的地方为重点附以简单说明。这可以作为进行练习之前的开场白。

### （练 习）

由表达练习、会话练习、发音练习各部分组成。“表达练习”是为了帮助学习者领会句型

和主要的口头表达方法而写的。练习并不应限于理解文章意思，而应该反复练习，一直到那些句子和表达方法能够脱口而出为止，并要充分注意发音。

“会话练习”中应很好地掌握环境的气氛和情况，以语言交际训练为目的。不仅是脑子里想的和嘴上说的，表情动作也应充分注意。还应对停顿、重音、语调进行指导。“发音练习”应以说中文的人容易产生问题的地方为重点反复经常练习。贵在有恒，每天甚至每次上课都应进行“基本练习”。初级阶段须要特别注意。

#### **(补充类语)**

“会话”“练习”中未能列入的，而生活中必需的表达方法和词汇都加以系统化。为了便于学习，尽可能采用照片和图画来表现日常生活中碰到的现象。有些项目，采用了简单的练习的形式，是“练习”部分的补充和发展。另外还有些部分含有日常生活所必需的知识，如在市役所领到的单子、从学校来的通知、书信的写法等。因篇幅有限，要写的也不可能全部收入。教师可以根据各地具体情况，收集有利于学习的资料和词汇，补充这项内容的不足。

#### **(录音磁带)**

另外，还备有解说、会话、练习部分的录音磁带。录音时，也同教科书一样，重视语言自然，会话速度也同平常使用的差不多。会话的录音不仅包括课文，还有翻释和注释。这样，光用录音磁带也可以进行学习。

## この本の特色と生かし方

この教科書の特色の第一は、一時的な外国人来訪者とは異なり、より深く日本の生活に入り込んで活動し、働いていく帰国者のために日本語能力を身に付けさせようとしていることである。したがって、教科書に取り入れられた内容には、同居家族との会話や、近所の人々とのあいさつ、交際に不可欠な感謝や謝りの表現、買物や緊急事態で必要な言葉もあり、これは、従来の日本語教育教材には見られないものである。

第二の特色は、学習者が実際に生活しながら日本語を覚えていかなければならないという環境条件を重視したことである。留学生のように、大学という特殊な環境の中で、外国語のできる日本人に見守られて、日本語を学習するのではなく、生々しい日本語の洪水の中で、好むと好まざるとにかかわらず、妥協のない日本語を聞かされ続ける状況にあることは無視できない。

この教科書では、第一課から、日常生活の普通の場面が設定され、学習者が聞くであろう、自然な日本語が提出されている。もちろん学習者に相当する人物（教科書内では林達雄及びその家族）の使用する言葉には厳密な学習段階への配慮をしてあるが、聞かされる言葉には、構文上、表現上決して易しくはないものが含まれる。教授者は、この事実を十分に理解し、聴いて理解するための能力と、話す能力とを区別し、実際の生活の場で役に立つ日本語の教育を目指してほしい。

恐らく話す能力の指導については、従来の日本語教育での手法が十分に効果を発揮するであろうが、聴く能力の指導については、一つ一つの文を完全に理解させたり覚えさせたりせず、この場面では、相手がどんなことを言うか、次にはどんな反応をするかなど、言葉によるコミュニケーションでの言葉の流れの型をよく飲み込ませること、100パーセント相手の言葉が理解できなくても、文脈全体をとらえる手掛かりとなる言葉を少しでも増やしていく努力、答えられても理解ができない無意味な質問をするよりは、自分の言いたいこと、頼みたいことを確実に言えるように準備させるなどの手法が重要な鍵となる。一言で言えば、この教科書は、言葉のための言葉の教材ではなく、行動能力を身に付けさせるための言葉の教材である。

### 〔全体の構成〕

全体の構成は、24の課から成っており、前半12課では、最低限の言語活動が充足できるような内容を含み、学習者に不利益を起こさせないような日常的なあいさつ、応答の表現などが取り上げられている。したがって、事実を説明したり、事物を描写する表現は、後

半の12課で現れてくる。前半において対話行動のための表現能力（表情や動作・イントネーションを含む）の定着を重要な目標とし、その上に論理的な記述・説明描写能力を積み重ねるといふ、この方式は、前述した編集方針を反映したものである。

また、24課から成る中心部分の前には、ひらがなの読み能力と発音の導入のために、「ひらがなと発音」が設けられており、巻末には利用者の便のために索引が用意されている。会話文や練習の例文を拾い読みをするような文字認知能力は本来の目的遂行を阻害するものなので、徹底的に「ひらがなと発音」の練習をすることが望まれるし、索引も学習内容の積み重ねや、予習のためにも大いに活用されるとよい。

### 〔各課の構成〕

それぞれの課は、「解説」「会話文」「翻訳・注釈」「練習」「関連表現」から成り立っている。「会話文」は、学習の素材となる文と場面が提示されている部分だが、その利用法は、理解をさせることにとどまらず、「会話文」を利用して練習を行うことも、学習者のレディネスに応じて実践すべきである。「関連表現」についても、積極的に扱い、列挙されている語彙や文章も練習の対象として取り入れたい。

### （解説）

その課で扱われている場面について、日本人の生活に関する知識を要領よくまとめて提出したものである。風俗・習慣の違いや、その背後にある日本人の考え方を理解することは、「会話文」や「練習」「関連表現」に盛られた言語の運用能力の形成に重要なかわりをもっている。

### （会話文）

病院や区役所など30以上の場面の録音調査を通じて、用意された会話例文であり、その表現は全く自然な日本語を基としており、標準的と考えられる言葉が使われている。内容としても言葉の形としても、学習者にとって最も役に立つものだと考えられるが問題点もある。学習者の居住する地域は東京語を中心とする共通語圏ばかりではない。学習者の生活を重視するこの教科書としては、地域の言葉は大切にしたい。しかし、残念ながらこの教材の紙数には限りがある。個々の教授者に地域社会の言葉への配慮をお願いしなければならない。

林さん一家の人々の言葉は使用能力の目安として、また相手となる人たちの言葉は理解能力を与える手掛かりとして扱ってほしいということは既に述べたが、理解のためには「注釈」や「翻訳」が、また、使用に関しては「練習」が一つのよりどころとなるはずである。表記は、漢字仮名交じり文、振り仮名付き、分かち書きで、片仮名も日常に使われる形で導

入してある。

### (翻訳・注釈)

翻訳に使用されている中国語は、自然な表現であることを第一の目標としているので逐語訳ではない。ただし、「市役所」「町役場」など固有名詞に準ずる語彙の中には、日本語の漢語をそのまま使用したものもある。学習者の日本語理解により役立つことを目指して、いろいろと工夫した。

翻訳だけでは分からない言葉の用法や意味については注釈を付けた。用法を誤ると、誤解や不利益を招く可能性のあるものを中心に、中国語の話者が間違えやすい点に重点を置いて簡略な説明を付けた。練習に入る前置きとしても利用されたい。

### (練習)

表現練習、会話練習、発音練習の三つから成り立っている。「表現練習」は、文の形や重要な言い方を身に付けるために用意されたもので、練習は、意味が分かった程度でやめてはならず、その文や表現が、口から自動的に出てくるようになるまで、徹底的に繰り返さなければならない。発音にも十分注意したい。

「会話練習」は、場面の雰囲気や状況をよくつかんだ、言葉のやりとりの訓練を目的とする。頭の中や口先だけでなく、表情や動作にも十分配慮し、間の取り方や、イントネーション、プロミネンスの効果も指導する。「発音練習」は、中国語の話者が問題を残しやすい点に重点を当て、継続的に練習を繰り返すように考えたものである。少しずつでもよいから毎日、あるいは授業のたびに「口の体操」をする必要がある。特に初期の段階を大切にしたい。

### (関連表現)

「会話」「練習」では取り上げられなかったが、生活上必要な表現や語彙に関して組織的、体系的に取り上げたものである。日常生活の中で出会うものを、写真や図をできるだけ多く使用して提示し、学習しやすいように並べてある。いくつかの項目については、簡単な練習の形をとって、「練習」部分の拡張の役割を果たしている。また、いくつかの部分は、日常生活に必要な情報——例えば、市役所で渡される書類、学校からの通知、手紙の書き方などが含まれている。もっとも紙数には制限があり、必要だと思われるものでも採用することのできなかつたものもある。教授者は、地域社会の実情をも踏まえ、学習に役立つ言葉や情報を収集し、この項の内容をふくらませてほしい。

### (テープ)

解説、会話文と練習を録音したテープが別に用意されている。録音に際しては、教科書



同様、自然さを重視し、会話のスピードも日常使われているものに準じている。会話文の場合は、本文だけでなく、翻訳や注釈も入っており、独立した教材としてもテープだけの学習が可能であるようにした。

## 平假名和发音 (ひらがなと発音)

### 五十音图 (五十音図)

あいうえお

かきくけこ

さしすせそ

たちつてと

なにぬねの

はひふへほ

まみむめも

やいゆえよ

らりるれろ

わいうえを

ん

きやきゆきよ

しゃしゆしよ

ちやちゆちよ

にやにゆによ

ひやひゆひよ

みやみゆみよ

りやりゆりよ

がぎぐげご

ぎじずぜぞ

だぢづでど

ばびぶべぼ

ぱぴぷぺぽ

ぎやぎゆぎよ

じゃじゆじよ

ぢやぢゆぢよ

びやびゆびよ

ぴやぴゆぴよ

### 练习 (練習)

#### 1. 一边看着字一边听录音, 反复练习发音。

(文字を見ながらテープを聞いて繰り返しなさい。)

(1) あ い う え お

あい(爱) おい(侄子) あお(蓝) いえ(家) うえ(上)

(2) い こ り て

いい(好) ここ(这里) こい(鲤鱼恋爱) うり(瓜) てあて(津贴)

(3) し つ く へ

くし(梳子) くつ(鞋) つり(钓鱼) へり(边缘) つくえ(桌子)

(4) も ま よ